

## 益富地学賞 小3針貝さんら

地学研究や普及啓発活動に取り組む公益財団法人「益富地学会館」（京都市、山岡景一郎理事長）が優れた研究や標本を表彰するコンテスト「第24回益富地学賞」（産経新聞社後援）の受賞者が決定し、表彰式が行われた。

岩石や鉱物の標本・研究、写真作品を募り、全国の小学生から一般まで21点の応募があった。専門家らによる審査の結果、河原などによく見られるハート型の石の成因をスポンジ実験などをもとに確かめてレポートした、京都市の小学3年、針貝美羽さんの「ハート型の石の研究」が研究部門優秀賞に選ばれた。写真。また産経新聞特別賞には、石の観察



から京都市内にある花折断層帯の存在を導き出した同市の中学1年、土屋風歌さんの「石ころが教えてくれた京都のひみつ」上桂川・久多川の岩石から京都を知る」が決まった。

他の受賞者は次の通り。  
(敬称略)

### 【研究部門科学奨励賞】

「大文字山のふしぎ」鉱物から山がわかる」山中彩  
（小5）▽「鴨川の石」どんな石がどれくらいあるのか」田中紅衣（中1）  
【同特別賞】「見つけた!!まぼろしの十勝石」北海道の黒曜石研究」中野晴幾（小5）▽「ワクワク宝さがしFinal 天竜川」阪下輝来（小6）  
【標本部門佳作】「方かい石のけんきゅう」西田一稀（小3）  
【写真部門佳作】「紅柱石の断面いろいろ」鈴木保光（一般）▽「碧の洞窟」矢作哲朗（同）

◇ 23日付文化面に掲載された記事で、受賞者一覧に不要な語句が入っていたため再掲載します。